

インフォシス、ニューヨーク証券取引所のオープニングベルを鳴らす

米国上場 25 周年を記念

インド、ベンガルール - 2024 年 6 月 20 日 : 次世代デジタル・サービスとコンサルティングの世界的リーダーである[インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE : INFY) は本日、明日 2024 年 6 月 21 日に[ニューヨーク証券取引所 \(NYSE\)](#) で The Opening Bell®を鳴らすことになったと発表しました。この栄誉は、インフォシスの米国上場 25 周年を記念するものです。この節目を記念して、サリル・パレク最高経営責任者 (CEO)、ジェイシュ・サングラジカ最高財務責任者 (CFO)、その他インフォシスの主要幹部がニューヨーク証券取引所でオープニングベルを鳴らします。

インフォシスの最高経営責任者兼マネージング・ディレクターであるサリル・パレクは、「インフォシスは 40 年以上にわたり、米国企業がデジタル変革を遂げ、次のステージに進むためのパートナーとして協力してきました。今日、私たちは AI ファーストの未来に向けて、成長機会を拡大させ、生産性の向上を提供する新しい道を開いています」と述べています。

インフォシスの最高財務責任者 (CFO) であるジェイシュ・サングラジカは、「インフォシスは 1999 年の米国上場以来、売上高年平均成長率 22%、時価総額年平均成長率 15%と、25 年間にわたり好調な業績を達成してきました。本日、米国での業績を祝うことができ、感激しています。また、長年にわたって当社の成功に貢献してくれたすべての顧客、従業員、投資家、その他の関係者に感謝します」と述べています。

インフォシスは、人間の可能性を増幅させ、人々、企業、地域社会に次の機会を創出するという目的に導かれ続けています。インフォシスは最近、Kantar BrandZ 社から世界のトップ 100 ブランド、Brand Finance 社からは 5 年間で最も急成長した IT サービスブランドとして評価されました。インフォシスはカーボンニュートラルを 5 年目も継続している。インフォシスは、ESG ビジョン 2030 に基づき、世界をより持続可能で包括的かつ公平に繁栄させるために積極的な役割を果たしています。

インフォシスはまた、TIME 誌の「2023 年世界の最優秀企業」リストの上位 100 社にインド企業として唯一ランクインしました。そして今年初め、インフォシスは、倫理的なビジネス慣行の基準を定め、推進する世界的リーダーであるエシスフィアの「2024 年世界で最も倫理的な企業 (The 2024 World's Most Ethical Companies®)」の認定を受けました。インフォシスは 4 年連続でこの認定を受けています。

Opening Bell®セレモニーの様子は、2024年6月21日午前9時26分（米国東部夏時間）/午後6時56分（IST）より、[NYSE.com](https://www.nyse.com) および [ニューヨーク証券取引所 - YouTube](https://www.nyse.com/quote/NYSE:INFY) にてライブ配信されます。また、Infosysの[インベスター・リレーションズ（投資家向け広報）](https://www.infosys.com/investor-relations) ウェブページでもライブストリーミングのリンクが公開される予定です。

Infosysについて

Infosysは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーです。30万人を超える社員が、人間の可能性を増幅させ、人々、企業、地域社会に次の機会を創出するために働いています。Infosysは、56カ国以上のお客様のデジタルトランスフォーメーションを支援しています。40年以上にわたってグローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験を生かし、クラウドとAIを活用したデジタルトランスフォーメーションを推進するクライアントの舵取りを専門的にを行います。私たちは、AIファーストのコアでクライアントを支援し、アジャイル・デジタル・アット・スケールでビジネスを強化し、イノベーション・エコシステムからのデジタル・スキル、専門知識、アイデアの移転を通じて、常時オン・ラーニングで継続的な改善を推進します。私たちは、多様な才能が包括的な職場で活躍する、ガバナンスが行き届き、環境的に持続可能な組織であることに深くコミットしています。

Infosys（NSE、BSE、NYSE: INFY）がどのように御社の次のナビゲーションをお手伝いできるかは、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー

本リリースに記載されている当社の将来的な成長見通し、または将来の財務・業績に関する記述は、1995年米国私募証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）に基づく「セーフ・ハーバー（免責条項）」の適用を受けることを目的とした将来見通しに関する記述であり、実際の結果や業績がかかる将来見通しに関する記述と大きく異なる可能性のある多くのリスクや不確実性を伴います。これらの記述に関連するリスクと不確実性には、当社の事業戦略の実行、人材の獲得と維持能力、ハイブリッド・ワークモデルへの移行、経済の不確実性、ジェネレーティブ AI などの技術革新、移民規制の変更を含む複雑で進化する規制環境、当社の ESG ビジョン、当社の資本配分方針、当社の市場での地位、将来の事業、利益率、収益性、流動性、資本資源、買収を含む企業行動、サイバーセキュリティに関する期待に関するリスクと不確実性が含まれますが、これらに限定されるものではありません。将来の見通しに関する記述によって示唆されるものとは異なる実際の結果や成果をもたらす可能性のある重要な要因については、2023年3月31日に終了する会計年度の年次報告書（Form 20-F）を含む、当社の米国証券取引委員会への提出書類で詳しく説明されています。これらの提出書類は、www.sec.gov。Infosysは、証券取引委員会への提出書類や株主への報告書に含まれる記述を含め、書面および口頭による将来の見通しに関する記述を随時追加する可能性があります。当社は、法律で義務付けられている場合を除き、当社によって、または当社を代表して随時行われる将来見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

お問い合わせ先：

Infosys 東京オフィス 安藤

Email : jo_ando@infosys.com